



【基本目標1】－【基本方針1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名	取組状況（令和5年度）	取組状況に対する評価（令和5年度）	事業の達成度
基本目標1 区民一人ひとりが参加する地域づくり	基本方針1 情報提供の拡充	子ども・子育てに関する情報提供	【地域ケア推進課】 ◆「多摩区地域子育て情報BOOK」を4,000部作成しました。 ◆多摩区内の子ども・子育て支援における様々な情報を「多摩区こそだてweb」「子育てアプリ」へ掲載しました。	【区役所の評価】 ◆収集した地域の子育て情報や利用者へのアンケートの意見を基に更新し、母子健康手帳交付時や乳幼児家庭の区内転入者、希望者及び区内の子育て支援者、関係機関に配布しました。子ども・子育て世帯にとって必要な支援も複雑化し、情報の収集・発信媒体も多様化しているため、区ホームページへの掲載など、必要な方に広く情報を提供できるように工夫しました。	3 目標をほぼ達成
			【地域支援課】 ◆母子健康手帳交付時や転入手続き来所時等に多摩区地域子育て情報BOOKを配布しました。	【区役所の評価】 ◆多摩区地域子育て情報BOOKの掲載記事については、毎年、保健師、助産師、栄養士等によって内容を確認し、現状に即した情報提供を行い、地域における育児をサポートしています。日頃の支援場面等で保護者が情報BOOKの掲載記事を見て、相談機関に繋がるケースが多くあります。	3 目標をほぼ達成
			【保育所等・地域連携担当】 ◆保育所等で実施している地域支援情報を掲載した「たまっ子ノート」を4,000部作成し、子育て中の親子に配布すると共に毎月の情報を「たまっ子カレンダー」に掲載し、最新の情報を届けるようにしました。カレンダーへの記載内容の増加に伴い、3地区（稲田・登戸地区、中野島・菅地区、生田地区）に分けて作成し、より詳細な内容をお伝えできるようにしました。 ◆子育て情報として年4回「子育てのワンポイント」を発行しました。また、子育てに有益な情報を提供するためHPで年4回更新、紙媒体においては区役所に配架するなどPRにも努めました。	【区役所の評価】 ◆孤立しがちな子育て世帯に育児のヒントとなるような情報提供を行うことで育児負担の軽減や外出するきっかけ作りになりました。 ◆掲載内容の充実とともにホームページへの掲載方法も整理し、各園・施設等の地域子育て支援事業の周知の幅が広がりました。子育て支援者の情報発信にも役立っています。	3 目標をほぼ達成

【基本目標 1】－【基本方針 1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和 5 年度）	取組状況に対する評価（令和 5 年度）	事業の達成度
基本目標 1 区民一人ひとりが参加する地域づくり	基本方針 1 情報提供の拡充	子ども・子育て	2 子ども・子育てに関する講座の開催	【地域支援課】 ◆子どもとの関わり方に悩む3～4か月児の親子を対象に「ちゅーりっぷセミナー」を奇数月に開催しました。子どもへの語りかけやスキンシップ、親子遊びをとおした関わりが子どもの健やかな成長発達を促すこと、親自身も育児を少しでも楽しむことの大切さを心理士等の講義や実践、参加者同士の交流を交えたプログラムで行いました。 年間6回実施し参加組数87組。参加者には、必要に応じて、地区担当保健師や他の相談先等を紹介しました。	【区役所の評価】 ◆子どもとの関わり方がわからない親は子どもどのように触れ合ったらよいのかかわらず育児を楽しめず、親としての自信も失くしてしまいます。子どもとのふれ合い遊びや語りかけの大切さ、具体的な方法を伝えることで、親自身が触れ合うことを意識し子どもとの絆が深まり、育児を楽しむことや児の発達を促すことにつながっています。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆子どもとのスキンシップを実践しながら、「小さい頃に触れ合い声をかけていくことが大切だと改めて思いました」、「触れ合い方がとても参考になった」など好意見が多く聞かれました。	3 目標をほぼ達成
				【保育所等・地域連携担当】 ◆「子どもと大人が共に育つ遊びの魅力とその伝え方」をテーマに、地域の子育て支援にかかわる支援者同士の連携を図るとともに、技術の修得や向上をめざし、支援の場に活かすことを目的に、講師を依頼し講演会を実施しました。対面方式で30名が参加しました。	【区役所の評価】 ◆現代の環境、その中で育つ子どもの姿、その保護者へのかかわり方等の講義に、身近な素材を使った遊びのワークも織り交ぜ、実践に生きる内容としました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆子どもを取り巻く環境がいかに大切かを学ぶことができた、保護者に伝わるコミュニケーション方法は早速使いたい、保護者の対応など具体的な場面のイメージがわかりやすいものが多く、分かり易かった等の感想をいただきました。	
				【高齢・障害課】 ◆多摩区精神保健福祉連絡会議全体会を年4回、講演会（年1回）は「親子のメンタルヘルスーみんなで子育てー」をテーマとし、会場・オンラインを併用して事前申込により開催いたしました。60名ほどの事前申込をいただき、当日は会場・オンライン合わせて、41名の方が参加されました。	【区役所の評価】 ◆会場・オンラインを併用して開催したことで、会場での参加が難しい方でメンタルヘルスに関して興味関心のある方にも参加していただくことができ、普及啓発を図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆まさに子育てをされている参加者から今後の子育ての参考になる話であったこと、今回のようなオンラインでも参加できるような講演会を増やしてほしいなどの意見をいただきました。	
		地域・暮らし	4 多摩区地域包括ケアシステムの普及啓発・地域情報の発信	【地域ケア推進課】 ◆川崎市多摩区地域包括ケアシステム広報誌「地ケアTAMA vol.5」（9月発行）、「地ケアTAMA vol.6」（2月発行）を各15,000部発行しました。また、配架先として、公共施設だけではなく郵便局区内12局や小田急線の区内4駅等に配架しました。 ◆区役所アトリウムで「地域包括ケアシステム」に関するパネル展示を実施しました（2月～3月）。	【区役所の評価】 ◆地域包括ケアシステムに係る自助、互助の取組を発信するため、地域活動を行う団体へのインタビューを中心とした紙面づくりを行いました。配架先として、公共施設だけではなく区内郵便局12局や小田急線の区内4駅等に配架し、多くの方の目に触れるよう工夫しました。 ◆パネル展示では、多摩区内5地区の取組の紹介の他、広報誌「地ケアTAMA」や地域包括支援センターの紹介、健康づくりに関する掲示なども行い、多分野にわたる地ケアの取組について来庁者に広報することができました。 ◆手法や対象、発信場所等、様々な工夫を取り入れ、より多くの区民に情報発信することができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆地ケアTAMAにインタビュー記事を掲載した地域活動団体からは、「自分たちの活動を多くの人に知ってもらえて嬉しい」といった意見が寄せられました。	3 目標をほぼ達成

【基本目標 1】－【基本方針 1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和 5 年度）	取組状況に対する評価（令和 5 年度）	事業の達成度
基本目標 1 区民一人ひとりが参加する地域づくり	基本方針 1 情報提供の拡充	地域・暮らし	5	健康づくりのための情報発信、講座 ◆5月31日の世界禁煙デーを含む1週間の禁煙週間における庁舎アトリウムでのパネル展示、7月28日の日本肝炎デーを含む肝臓週間におけるエレベーター前モニターでのデジタルサイネージの表示を行い普及啓発を行いました。また、熱中症予防のために本庁作成のポスター掲示を行い、対策グッズである冷タオル200本を配布しました。 ◆高血圧予防の普及啓発のため、公園体操等での出前講座の実施、イベントや関係機関での展示や配布、デジタルサイネージでの放映を行いました。 ◆総務課発信のシティマップナビタ（多摩区全域地図）へ多摩区の健康づくり・介護予防に関する情報を掲載し、各公共施設や関係機関へ配布しました。	【区役所の評価】 ◆デジタルサイネージの表示、冊子チラシの配布、イベントでの掲示物展示等を通じて、様々な媒体を使い情報発信したことで、多くの方の目に触れる機会が増え、効果的に普及啓発を行うことができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 —	3 目標をほぼ達成
			6	快適で暮らしやすい生活環境づくりのための情報発信 【衛生課】 ◆市制100周年事業「100年続く人と動物のきずなプロジェクト」のプレ事業として、令和 5 年5月に生田緑地にて犬と歩く名所動画を撮影し作成、ホームページに公開しました（R6.3.31現在の視聴回数661回）。また、2月13日～2月22日の間、動物愛護事業の紹介パネル展示を実施しました。 ◆川崎市総合防災訓練において啓発ブースの運営を川崎市犬猫愛護ボランティアとともにを行い、ペットの防災に関するパネル展示や同行避難等の啓発活動を行いました。	【区役所の評価】 ◆新緑あふれる生田緑地を舞台とした犬と歩く名所動画をホームページに公開しました。「動物と振り返る川崎市動物愛護行政のあゆみ」や、「かわさき犬猫愛護ボランティアとの協働」「学校・保育園等への動物愛護教育の取組」を写真やイラストを用いたパネルで分かりやすく展示しました。衛生課や隣接する課に来所した市民の方の多くに足を止め見ていただくことができました。 ◆川崎市総合防災訓練において川崎市犬猫愛護ボランティアの方が作成した災害時のペット対策についてのパネルを展示し、来場した方にペットとの同行避難や事前準備することの重要性等について啓発することができました。 ◆ペットの飼い主はもちろん、動物にあまり関心のない方にも、親しみやすく興味が持てる情報を発信することができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 —	2 目標を上回って達成
			7	地域コミュニティの活性化促進事業 【地域振興課】 ◆多摩区町会連合会役員会「地域コミュニティの活性化促進委員会」にて、町内会・自治会への加入促進を推進する広報媒体「町内会・自治会に加入しよう！」を企画・作成しました。また、町内会・自治会の円滑な運営について、「多摩区町内会長・自治会長及び役員等研修会」を企画・開催しました。	【区役所の評価】 ◆若い世代をターゲットとした広報媒体を作成し、区民課窓口にて転入者に配布を行い、町内会・自治会への加入を広く周知しました。また、町内会・自治会の共通の課題である「担い手不足の解消」及び「後任育成の方法」について研修会を開催し、参加された町内会・自治会長からは、参考になったとの感想が聞かれ、新しい町内会・自治会活動のあり方について検討するきっかけとなり、一定の効果が得られたものと考えます。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆広報媒体を用いて、引越しをされてきた世帯にも案内を行っています。また、研修会では、一部の町内会自治会の活動内容の紹介等も併せて行われ、今後の活動の参考になったとの声が聞かれました。	3 目標をほぼ達成
		防災	8	防災対策啓発事業 【危機管理担当】 ◆多くの区民が災害時の備えや防災知識を習得することを目的に、楽しく災害時の行動や日頃の備えを学ぶ「防災フェア」について、令和6年2月4日、フロントアウ生田で開催し、来場者向けに防災体験ブースや展示ブースを複数設け、防災についての啓発を実施しました。	【区役所の評価】 ◆「防災フェア」は、多摩区自主防災組織連絡協議会の啓発ブースを設けており、パネル展示の来場者向け案内、備蓄物資等の配布を行いました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆啓発品で防災食を配布したり、ローリングストックの啓発ブースを設けたことにより、来場者から、「平常時からの備蓄の大切さを再認識できた」などの声をいただきました。	3 目標をほぼ達成

【基本目標 1】－【基本方針 1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和 5 年度）	取組状況に対する評価（令和 5 年度）	事業の達成度
基本目標 1 区民一人ひとりが参加する地域づくり	基本方針 1 情報提供の拡充	イベントを通じた情報発信	9	多摩区健康フェスタ	<p>【地域ケア推進課】</p> <p>◆健康フェスタ実行委員会（13団体で構成）を2回開催しました。</p> <p>◆3月2日に開催した生田緑地スプリングフェスタに4団体が出展し、絵本の読み聞かせやミニウォーク、肺年齢測定等を実施しました。</p> <p>◆2月9～17日にかけて実施した区役所アトリウムでのパネル展示に事務局を含めた9団体が参加し、団体の活動紹介や健康増進への普及啓発を行いました。</p> <p>【区役所の評価】</p> <p>◆事務局として、実行委員会開催に係る資料作成や参加希望団体の取りまとめ、生田緑地との連絡調整等を行いました。</p> <p>◆パネル展示に事務局として参加し、多摩区地域包括ケアシステム広報誌「地ケアTAMA」の周知や健康づくりに関する取組の情報発信を行いました。</p>	3 目標をほぼ達成
			10	たまたま子育てまつり	<p>【生涯学習支援課】</p> <p>◆「たまたま子育てまつり」を多摩区総合庁舎で開催しました（年1回、9月第3日曜日開催）。</p> <p>◆「たまたま子育てまつり」の開催にあたり、市民と行政機関で構成された実行委員会を14回、参加団体説明会を2回開催しました。</p> <p>◆子育てリーフレット「多摩区で子育て」3,000部発行しました。</p> <p>◆来場者4,000人</p> <p>【区役所の評価】</p> <p>◆新型コロナウイルス感染症対策として実施していた事前申込制を廃止したことなどを受けて、昨年より大幅に多い、約4,000人の来場者があり、参加団体数も増加しました。子育て支援に取り組んでいる参加団体と、子育て世代の来場者等との交流を促進するだけでなく、各団体やボランティアが協力してイベントを運営することで、参加団体同士の情報交換の場ともなりました。</p> <p>◆子育て情報リーフレットを印刷し、「たまたま子育てまつり」開催中に、関係者と連携して子育て世帯に配布しました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆実行委員会から「参加団体同士のチームワークがよく見られ、お互いの情報交換や交流等が行われて良かった。」、参加団体や来場者からも、「全世代の人が協力していて、子どもたちの楽しそうな表情をたくさん見ることができて良かった。」という感想をいただきました。</p>	3 目標をほぼ達成
			11	多摩ふれあいまつり	<p>【生涯学習支援課】</p> <p>◆「多摩ふれあいまつり」を多摩区総合庁舎で開催しました（年1回、6月第2日曜日開催）。</p> <p>◆「多摩ふれあいまつり」の開催にあたり、第22回多摩ふれあいまつりの実行委員会を10回、参加団体担当会議を5回開催しました。</p> <p>◆来場者約3,500人</p> <p>【区役所の評価】</p> <p>◆区内障害者施設、ボランティア団体、障害者本人・家族等が協力して、障害のある人への理解を深めるために開催しました。当事者、ボランティア、実行委員等が協力して取り組み、多くの来場者があり、地域のネットワークづくりを促進するイベントになりました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>—</p>	3 目標をほぼ達成

【基本目標 1】－【基本方針 1 情報提供の拡充】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和５年度）	取組状況に対する評価（令和５年度）	事業の達成度
基本目標１ 区民一人ひとりが参加する地域づくり	基本方針１ 情報提供の拡充	イベントを通じた情報発信	12 パサージュ・たま	【地域ケア推進課】 ◆「パサージュ・たま」を多摩区役所１階アトリウムと登戸南北自由通路で開催しました（年18回開催）。 ◆多摩区ソーシャルデザインセンターで、「パサージュ・たま」参加団体の作品の常設展示・販売を引き続き実施しました。 ◆障害への理解や関心を深めるため、「パサージュ・たま」参加団体の日頃の様子を映像にまとめ、「パサージュ・たま」開催時や多摩区YouTubeで放映を行いました。 ◆「パサージュ・たま」運営委員会を年2回開催しました。 ◆広報誌を多摩区内各所で配布しました。	【区役所の評価】 ◆原則月2回（８月を除く）開催しました。障害をお持ちの方も意欲と活力をもって参加しており、来庁者からも好評を得ています。また、登戸駅での開催により障害に関する普及啓発を効果的に実施することができました。 ◆多摩区ソーシャルデザインセンターでの常設展示・販売を引き続き実施し、参加団体の展示・販売機会を確保し、さらなる障害への理解と関心を深めることができました。 ◆制作した映像について、多摩区YouTubeチャンネルや「パサージュ・たま」開催日にアトリウムにて放映して活動の周知を進めることで目的の達成に大きく近づいたと考えます。 ◆第２回パサージュ・たま運営委員会にて、今後のパサージュ・たまのあり方や方向性について、各団体にヒアリングを行った上で検討を進めることが決定しました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆参加団体から、「多くの方々に製品に限らず、施設や地域のことに興味を持っていただき、お話をさせていただいて楽しく販売できました」との意見をいただきました。 ◆紹介動画の取材をした参加団体から、「作品だけではなく、自分たちの日頃の活動を多くの人に発信できたことがうれしい」との意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
			13 多摩区スポーツフェスタ	【地域振興課】 ◆川崎市多摩スポーツセンターなどを会場とし、3月10日に第11回多摩区スポーツフェスタを開催しました。 【区役所の評価】 ◆本イベントは、誰もが参加できるスポーツ体験事業として、地域の団体を構成員とする実行委員会形式で毎年実施しているものです。実行委員会を中心に企画立案を進め、バドミントン元日本代表の高橋礼華選手によるバドミントン体験教室、パラリンピック種目のゴールボールをはじめ23種目29体験教室を行ったほか、区内の明治大学男子チアリーディングチームによるオープニングセレモニーを行いました。スポーツに取組む機会を提供する目的に加え、地域の活動を知ってもらう機会や住民同士の交流を促進する一助となったと考えます。 ◆今年度は、５年ぶりに制限を伴わない形で開催しましたが、2,200人を超える参加者が集まり、それぞれが複数の種目を楽しむなど、事業の目的と安全な開催を両立することができたと考えます。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆参加者から「スタッフの方の進行がとても丁寧でした」「親子と一緒に練習しようと思いました」「トップアスリートのレッスンを体験できてうれしかったです。子どもがバドミントンを始めたいと言っています」などの意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成	

【基本目標1】－【基本方針2 地域で活躍する人材の育成】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名			取組状況（令和5年度）	取組状況に対する評価（令和5年度）	事業の達成度
基本目標1 区民一人ひとりが参加する地域づくり	基本方針2 地域で活躍する人材の育成	子ども・子育て	14	子育て支援者養成事業	<p>【地域ケア推進課】</p> <p>◆全9回にわたる子育て支援者養成講座を会場受講（9月29日～12月1日）と録画受講（講義日の2日後～12月末）で実施し、計29名が受講しました。</p> <p>◆地域活動団体での実習として、子育て支援センターなかのしに1名が参加しました。</p> <p>◆地域活動団体の紹介冊子を作成し、全ての受講生に郵送しました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆会場受講と録画受講で実施することで、様々な年齢層や生活スタイルの区民が受講できる環境を整えることができ、地域活動団体で実習も行うことができました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆受講生から、「どの回も大変充実した内容で勉強になった」「子育て、地域への理解、自分ができることなど色々と考えさせられ、受講する前とした後では、確実に行動力が変わった」といった意見をいただきました。</p>	3 目標をほぼ達成
			15	中高生職場体験	<p>【保育所等・地域連携担当】</p> <p>◆年度の後半に、学校側の職場体験事業が再開し、近隣の学生29名が保育園での職場体験を行い、多世代交流の機会を持つことができました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆一人っ子世帯も多くなり、乳幼児を知らないまま大人になり、子どもを持つ人も少なくない中、若い世代がその機会を持つことは、少子化の問題にも少なからず必要な体験だと考えます。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆実際に就学前の子どもたちと触れ合う経験は、学生にとって貴重な機会だという声がありました。</p>	3 目標をほぼ達成
		地域・暮らし	16	健康づくりを担う人材の育成	<p>【地域支援課】</p> <p>◆健康づくり・介護予防を担う地域の人材育成のため、食生活・健康づくりなどのボランティア養成講座を4日間1コースで開催しました。1～3日目は各13名、4日目は12名の参加があり、その後ボランティア活動に繋がったのは6名でした。</p> <p>◆日程によってグループ編成を変更し、様々な人と交流できる場を設けたことで地域の仲間づくりには効果的でした。</p> <p>◆地域ごとで活動しているボランティアの交流、情報交換を目的に地域活動を担うボランティアの方向けの学習会を年1回実施しました。フレイル予防をテーマにグループワークを含めた講義と運動実技を行いました。当日12名の参加がありました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆調理実習を全員参加としたことで、食生活のボランティアの裾野を広げることができました。また、終了後のアンケート結果に応じて参加者へ架電し、直近での地域活動を案内したことで、スムーズにボランティア活動につながるための橋渡しができました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆実施後のアンケートでは、グループワークで他の参加者と意見交換できたことはとてもよかったとの意見が聞かれ、ボランティア同士の交流ニーズは高いと考えられます。</p>	3 目標をほぼ達成
					<p>【地域支援課】</p> <p>◆多摩区公立小学校を対象にした認知症サポーター養成講座、多摩区公立中学校を対象とした認知症講演会を計画しました。令和5年度小学校認知症サポーター養成講座は11校、中学校認知症講演会は4校で実施しました。住民向け認知症サポーター養成講座については10か所で実施しました。</p> <p>◆認知症サポーター向けのフォローアップ講座については、認知症介護指導者による講話とグループワークを実施し、31名の参加がありました。</p> <p>◆認知症キャラバン・メイト向けフォローアップ講座については、かながわオレンジ大使による講話を実施し、39名の参加がありました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆地域資源等にアプローチを行い、住民向け認知症サポーター養成講座を10か所での実施につなげることができました。小学校、中学校についても継続して実施できていること、次年度以降につながる成果であると考えています。次年度以降も小学校、中学校での普及啓発と合わせて、住民向けの認知症サポーター養成講座等の開催を行い、効果的な普及啓発活動を継続していきたいと考えています。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆住民向け認知症サポーター養成講座、認知症サポーター向けフォローアップ講座、認知症キャラバン・メイト向けフォローアップ講座については、参加者に向けたアンケートを実施しており、認知症の人の正しい理解や参加者自身の生活場面でのような行動や支援ができるのかを考える機会になったとの感想を多数いただきました。学校向け認知症サポーター養成講座についても、認知症の理解ができたこと、参加した生徒自身の高齢の家族への接し方について考える機会になったとの感想をいただきました。</p>	3 目標をほぼ達成

【基本目標 1】－【基本方針 2 地域で活躍する人材の育成】

基本 目標	基本 方針	具体的取組・事業名			取組状況（令和５年度）	取組状況に対する評価（令和５年度）	事業の 達成度
する 地域 づくり が 参 加	基本 目標 １で 基本 方針 ２の 人材 の 地域	防 災	18	地域防災力 強化に向け た取組	【危機管理担当】 ◆「災害に強いまち」の実現のために、次世代の防災リーダーとして活躍が期待される子育て世代への取組が必要であることから、子どもとその保護者が興味を持って気軽に参加しやすいプログラムを取り入れた「防災キャンプinせせらぎ館」を3月16日に実施しました。	【区役所の評価】 ◆若い世代の地域防災力の向上が図られました。 ◆新たな試みとして申込方法を電話またはメールからログフォームに変更し、前年度よりも少ない事務量で、例年どおり多くの親子から申込がありました。	3 目標をほぼ達成
					【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆参加した14組（31名）のアンケート結果から、実施したプログラムについて、「実際にできそうな防災の方法を教えてくださいましたので、とてもためになり、参加できてよかったです」など、高評価を得られました。		

【基本目標 1】－【基本方針 3 地域活動への支援】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和５年度）	取組状況に対する評価（令和５年度）	事業の達成度
基本目標１ 区民一人ひとりが参加する地域づくり	基本方針３ 地域活動への支援	子ども・子育て	19 多摩区こどもの外遊び交流事業	【地域ケア推進課】 《主催イベント》 ◆生田小学校下校庭「思いっきり外遊び」（7月17日開催 86名参加） ◆稲田公園「思いっきり外遊び」（12月2日開催 183名参加） 《共催イベント》 ◆「二ヶ領用水のガサガサ体験」（9月3日開催 80名参加） ◆「たこつくり、たこあげ」（1月8日開催 181名参加） 《人材育成》 ◆「外遊び交流会」（6月10日開催 交流委員8名、かわさき外遊びネットワーク2名参加） 《広報業務》 ◆「たまたま子育てまつり」出展（9月17日開催） ◆リーフレット「思いっきり外遊び！」を4,000部発行しました。 ◆その他啓発事業、活動支援事業などを実施しました。	【区役所の評価】 ◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の事務局として、物品貸出等の外遊び団体の支援を通じ、地域活動を活性化させることができました。 ◆当初予定していた「二ヶ領用水の魚つかみ」が、猛暑の影響で魚が弱り実施できなかったため、「二ヶ領用水のガサガサ体験」に内容を変更して実施するなど柔軟に対応できました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆多摩区こどもの外遊び交流委員会の委員から、「子どもたちが道具を持参して遊び方を見つけている様子を見て、イベントが定着していることが伺えた」、「たこつくりでは様々な模様のたこが完成していて、子どもたち多様な個性を見ることができた」等の意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
			20 患者・家族会等のグループ支援	【高齢・障害課】 ◆毎月2回年21回（4月・1月・3月は月1回）実施で計画し、予定通り実施することができました。 ◆家族を対象とした家族教室は、精神障害当事者・精神障害者を抱える家族・地域の支援者をお呼びし、本人・家族の将来をテーマに12月に実施しました。また、家族会は年2回実施しました。 【区役所の評価】 ◆患者を対象としたデイケアでは、患者のリハビリテーションとなるよう様々なプログラムを実施しました。 ◆家族教室は、精神障害当事者、精神障害者を抱える家族、地域の支援者及び参加者で意見交換も行ったことで、それぞれの立場での理解につながり、有意義なものとなりました。また、家族会は、意見・情報交換を参加者間で行ったことで家族同士の交流と支えの場となりました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆患者を対象としたデイケアでは、有意義な時間を過ごすことができたなどの感想をいただきました。 ◆家族教室では、当事者・家族・支援者それぞれの立場から講演、質問に答えていただいたことで病気のことを理解し、受け止めることができた、参考になったなどの意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成	

【基本目標 1】－【基本方針 3 地域活動への支援】

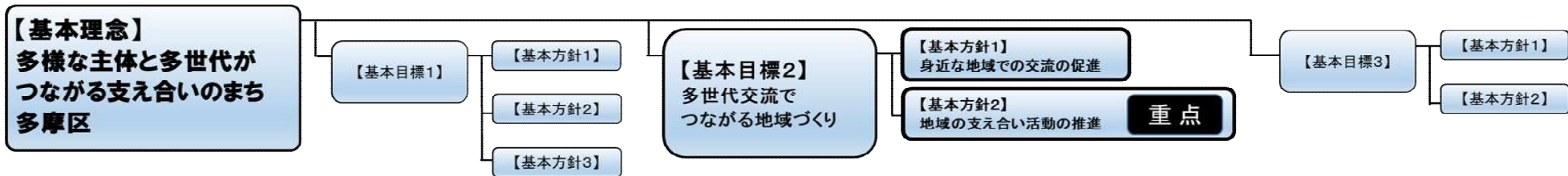
基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和 5 年度）	取組状況に対する評価（令和 5 年度）	事業の達成度
基本目標 1 区民一人ひとりが参加する地域づくり	基本方針 3 地域活動への支援	高齢者	21	【高齢・障害課】 ◆区老人クラブ連合会では、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、年間行事である演芸大会やスポーツ大会、グランドゴルフ大会、ベタンク大会、ゲートボール大会、体力測定、いきいき体操、ダンスまつり等の健康づくりや趣味の作品展、交通安全の折り鶴作成・配布等のいきがいづくりに取り組みました。 ◆区や各地域包括支援センターでは、各種活動の周知に協力しました。	【区役所の評価】 ◆今年度は、天候に左右されることはあったものの、年間行事をほぼ計画どおりに実施することができました。それぞれの活動を通じて高齢者のいきがいと健康づくりが図られ、介護予防につながることができました。 ◆区や各地域包括支援センターでは、地域において重要な役割を担っている老人クラブが継続的に活動できるよう、いきいき体操への参加や行事等の周知協力等を通じて会員増強運動を支援しました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆老人クラブ加入者からは、天候により中止になった行事はあったものの、コロナ禍前程度の活動ができるようになったことに喜びを感じるとともに、今後も感染防止には気を付けながら、様々な活動をしていきたい、との声をいただきました。	3 目標をほぼ達成
			22	【地域支援課】 ◆「多摩区みんなの公園体操」は32か所、「多摩区いきいき体操」は20か所で実施しました。2地域で実施していた「多摩区地区ウォーク」は令和5年度から1地域になり「多摩区健康ウォーク」と名称変更して継続して活動しています。 ◆地域活動団体に向けて、年に数回活動支援や健康に関する普及啓発を行っています。 ◆いこい元気広場を区内7か所で実施しています ◆それぞれの地域活動については、チラシやシティマップナビタ（多摩区全域地図）等で活動を周知しました。身近な地域で気軽に参加できるよう普及啓発を実施しました。	【区役所の評価】 ◆行政としては、身近な地域で活動に参加していけるよう各関係機関と連携し、市政だよりや総務課発信のシティマップナビタ（多摩区全域地図）への掲載、チラシを活用した広報の実施を行いました。また自主活動グループへの参加や地域に向いた健康に関する普及啓発を行いました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆地域活動団体からは、地域活動ボランティアの高齢化やコロナ禍の制限解除後の運営は大変な面もあるが、生きがいづくりや地域の見守りの場になっているとの意見がありました。	3 目標をほぼ達成
		地域・暮らし	23	【地域支援課】 ◆地区定例会に年37回、運営委員会に年12回出席し、講話や情報提供のほか、会員とともに活動内容の検討を行いました。養成教室受講者にも定例会等に出席してもらい、活動体験を通して当協議会への興味を持っていただくことができました。 ◆会員独自では、たまたま子育てまつりや、危機管理担当からの依頼で「多摩区防災フェア、安全・安心フェスタ」、地域住民からの依頼で長沢フェスタin諏訪社のイベントへ参加しました。また、日本食生活協会からの委託事業については、コロナ禍後初めて調理実習や試食を伴う方法で実施しました。SDCや若者世代の居場所とつながりを持ち、区役所としても課題である若者世代に対してアプローチができました。そのほか、 <u>男性料理教室及び地域の高齢者会食会への従事、地域カフェでの啓発等で年間44回、延べ785名へ啓発することができ、昨年度と比較し、大幅に増加しました。</u>	【区役所の評価】 ◆コロナ禍により、会員の地域活動への意識が低下していたため、作業部会や役員との打合せの時間を多く設け、媒体作成や、啓発内容の検討をともに行いました。若者世代向け調理実習では対象者への広報強化、利便性を考え、オンラインフォームでの予約とし、フォーム作成支援を行いました。 ◆若者世代向け啓発、シニアカフェでの啓発では、地域支援課栄養士が同行し、区の健康課題等を伝えることが可能になり、食生活改善推進員と連携した啓発ができました。 ◆ボランティア養成教室修了者向けに調理実習を開催することで、既存会員と修了者のつながりを作ることができました。 ◆定例会などを実施し、定期的に集まることや、行政から情報提供を行うことにより、自助・互助の意識を高めることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆多摩区防災フェア、安全・安心フェスタに出展していた大学生からは、バッククッキングの講座の依頼がある等、各種イベントに参加したことで、地域住民へ当協議会の周知ができました。 ◆調理実習への参加者からは、「また参加したい。」との声が聞かれました。	2 目標を上回って達成

【基本目標 1】－【基本方針 3 地域活動への支援】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名			取組状況（令和5年度）	取組状況に対する評価（令和5年度）	事業の達成度
基本目標 1 区民一人ひとりが参加する地域づくり	基本方針 3 地域活動への支援	地域・暮らし	24	多摩区町会連合会等の支援	<p>【地域振興課】</p> <p>◆多摩区町会連合会等、団体運営を通じて、各団体の活動に関する地域住民の理解と関心を促し、様々な住民の参加とつながりを推進するよう取り組みました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆新型コロナウイルスの感染が鎮静化したことから、多摩区町会連合会をはじめとした各団体における活動は、概ね年間計画に沿って実施することができました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆多摩区町会連合会役員等から、「コロナ禍により衰退が懸念された住民の参加とつながりについて、各活動を通じて、コロナ禍前の状況に戻りつつあると感じている」との意見をいただいています。</p>	3 目標をほぼ達成
					<p>【危機管理担当】</p> <p>◆各自主防災組織連絡協議会の訓練等の活動に対して、「川崎市地域防災活動促進助成金」を支給しており、61件の申請がありました。</p> <p>◆各自主防災組織が、地域での自主防災活動を目的とした防災資器材を購入する場合に、「川崎市自主防災組織防災資器材購入補助金」を支給しており、22団体へ支援しました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆会議等において、「令和5年度活動支援ガイド」を配布し、左記2つの制度のほか、ぼうさい出前講座等、自主防災組織が防災活動を行う上での支援等について説明を行い、川崎市地域防災活動促進助成金については昨年度を20件上回る実績になりました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>—</p>	
		防災	25	自主防災組織への運営支援	<p>【企画課】</p> <p>◆「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」における区域レベルの取組を効果的に推進するため、多摩区ソーシャルデザインセンターの運営組織と締結した協定に基づいた運営支援（行政情報の提供、広報支援、組織体制の強化に係る支援等）を実施しました。</p> <p>《運営組織による主な取組は以下のとおり》</p> <p>◆多摩区ソーシャルデザインセンター事務所にスタッフを配置し、相談受付を実施しました。</p> <p>◆地域活動を行っている団体に対する補助事業である多摩区地域コミュニティ活動支援事業（多摩区まちのひろば活動支援資金）を実施しました。</p> <p>1件10万円を上限として募集を行い、令和5年度は7事業を選定しました。</p> <p>◆事務所でのイベントを通じた人材発掘や地域人材の情報登録受付による人材バンクの構築に向けた取組を行いました。</p> <p>◆地域人材の育成を目的に、高校生を対象に多摩SDCを通じて地域活動が体験できるプログラムを提供する「高校生スペシャルウィーク」を実施しました。</p> <p>◆地域の交流促進に向けたイベントを開催しました（「登戸・たまがわマルシェ」、「登戸・たまがわ運動会」「フロンタウン冬まつり」等）。</p> <p>◆地域イベントへの参加・協力を行いました（「登戸まちなか遊縁地」等）。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆「多摩区におけるソーシャルデザインセンター開設案」に掲げられた基本的機能に沿って、多様な主体の連携により、交流促進や地域活性化をはじめ、区民中心の運営組織主体の様々な取組が実施されました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆令和6年3月に令和5年度の多摩区ソーシャルデザインセンターの取組についての活動報告会を実施。報告会後のアンケートでは、参加した区内の町内会・自治会、地域団体等の方から、地域の担い手の育成に取り組んでいることへの評価や、シニア層の参加促進に関する意見がありました。</p>	3 目標をほぼ達成
					<p>【地域振興課】</p> <p>◆多摩区内の市民活動団体等が自主的・自立的に発展していくための支援を行う拠点として、多摩区役所及び生田出張所内に「多摩区民活動・交流センター」を設置し、年間を通じて会議室や印刷・作業スペースを提供するとともに、登録団体から構成する運営委員会を年7回行い、同施設の運営の検討を行ったほか、認知率向上及び利用促進のため、「多摩区民・活動交流センターのご案内」を4年ぶりに更新作成しました。全体会を年1回開催し、団体間の交流、相互支援を促進しました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆新型コロナウイルスが5類に変更になったことに伴い、会議室利用及び印刷機の印刷枚数は回復傾向にあり、会議室利用率、印刷枚数共に前年に比して増加しています。また、利用登録団体数についても220団体から235団体に増加していることから、本事業が市民活動の支援につながっているものと考えられます。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆運営委員からは、印刷枚数が増加傾向にあり、運営がコロナ禍以前に戻りつつあることを歓迎する一方で、利用ルールが徹底されていないことから、全体会等での利用方法の周知の必要性が挙げられています。</p>	
		その他	26	多摩区コミュニティ施策区域レベル取組推進事業			3 目標をほぼ達成
			27	市民活動支援事業			3 目標をほぼ達成

【基本目標 1】－【基本方針 3 地域活動への支援】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和 5 年度）	取組状況に対する評価（令和 5 年度）	事業の達成度
基本目標 1 参加する地域一人ひとりが	基本方針 3 地域活動への支援	その他	28	【企画課】 磨けば光る多摩事業 ◆他事業との整理・統合を含めた見直しを行うため、令和4年度以降、事業を休止しました。	【区役所の評価】 — 【連携した団体・区民等の評価／意見】 —	3 目標をほぼ達成
			29	【生涯学習支援課】 市民自主学級・市民自主企画事業 ◆市民団体が提案した企画事業（福祉関係：1事業、福祉関係以外：1事業、計2事業）を行政と協働で実施しました。 《企画事業》 ○みんなでトライするプログラム&ふらっとカフェ運営 5月9日～3月5日（講座3回、カフェ10回） 参加者：延べ268人	【区役所の評価】 ◆企画運営する側の市民団体と受講者が同じ目線で課題を共有し、問題解決に向けて話し合うことができました。行政としては、資金を委託料として提供したり、効果的な広報方法や会計処理など講座がスムーズに運営できるように支援しました。 ◆今後も市民力の向上と地域のコミュニティ形成の活性化に努めていきます。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆カフェ運営については、参加者から「地域カフェだけではなく歌を歌いながらの講座も楽しかった。」「フレイル予防について学べた。」という声をいただきました。主催団体からは、地域の「居場所」、人と人が出会い、話せる、交流できる場所をつくる目標に少しは近づけたかなと思うといった感想がありました。	



【基本目標2】－【基本方針1 身近な地域での交流の促進】

基本 目標	基本 方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和５年度）	取組状況に対する評価（令和５年度）	事業の 達成度
基本 目標 ２ 多 世 代 で つ な が る 地 域 づ く り	基本 方針 １ 身 近 な 地 域 で の 交 流 の 促 進	子 ど も ・ 子 育 て	30 子育てサロ ン・子育て ひろば	【地域支援課】 ◆多胎児を持つ保護者の支えあいを目的とした、子育てサロン「ぶよぶよザウルス」を年11回（12月休み）開催しました。年間延組数56組が参加し、うち5組が多胎児を妊娠中の妊婦の参加となっています。 ◆35歳以上の初産婦を対象に子育てサロン「こうのとりのみ休み」を開催しました。年間延参加組数は、137組、うち初回参加の合計は47組となっています。参加者が増えたことから、8月より定員を15組から20組に変更しています。 ◆近隣に住む親子の情報共有や交流を目的として、子育てサロン「長沢ママ'sサロン」を年6回、「長尾親と子の広場」を年10回開催しました。	【区役所の評価】 ◆「ぶよぶよザウルス」「こうのとりのみ休み」「長沢ママ'sサロン」「長尾親と子の広場」を開催し、区内で子育てをしている親同士で支えあいながら、安心した育児ができるように支援しました。また、「ぶよぶよザウルス」においては、妊婦の参加により出産後の多胎児育児のイメージ作りに役立っています。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆参加者からは親同士が交流できる場が少なくなっている中で開催している所を探して参加したとの声がありました。直接会の参加者と交流できて良かったとの感想が聞かれました。	3 目標をほぼ達成
			31 子育てひろ ば・外国人 の子育てひ ろば	【生涯学習支援課】 ◆「子育てひろば」 就学前の子どもと保護者が自由に交流するフリースペースを年20回開催しました（8月を除き毎月第2・4火曜）。参加者は339組694人。 ◆「外国人の子育てひろば」 外国人の親子が自由に交流するためのフリースペースを年11回開催しました（8月を除き毎月第2金曜）。参加者は56組119人。	【区役所の評価】 ◆子育て支援ボランティアグループの協力のもと、通年で開催しており広く区民に知られる存在となっています。親子が安心して参加できる地域の居場所として、大切な役割を果たしています。今後も人と地域のつながりを大切にする交流の場所の提供に努めます。感染症の状況は日々変化しているため、その都度川崎市の対応方針に基づいた対策を講じます。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆参加者から、地域の子育て支情報関係の情報報発信やスタッフ・参加者同士交流できる喜びの声が多くありました。	3 目標をほぼ達成
			32 身体測定・ 遊びの広場	【保育所等・地域連携担当】 ◆公立保育園で開催のあそびの広場には206名、園庭・室内開放等に1482名、交流保育に161名、講座に388名の参加等がありました。	【区役所の評価】 ◆お子さんが専門職の関わりのもと生活し、年齢に相応した遊びを経験し、仲間と共に過ごす保育園の場を活用して、子育てに悩みを抱える保護者に実際の姿や関わりを見てもらえ、育児に関する相談をお受けする機会は、子育て中の家庭の育児不安の解消に大きく貢献しています。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆家庭で子育てをしていると、同年齢のお子さんの様子を知る機会が少ないことなどから、お子さんの姿や保育士の関わりを直接知ることができる体験型の事業は好評を得ています。	3 目標をほぼ達成

【基本目標 2】－【基本方針 1 身近な地域での交流の促進】

基本 目標	基本 方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和５年度）	取組状況に対する評価（令和５年度）	事業の 達成度	
基本目標２ 多世代でつな がる地域づく り	基本方針１ 身近な地域で の交流の促進	子ども・子育て	33 多摩区子育て支援パスポート事業	【地域ケア推進課】 ◆「多摩区子育て支援パスポート」を2,298枚発行しました。 協賛登録数（11商店会、70協賛店、3公共施設）、 ◆協賛店の確認、協賛店ガイドの更新を行いました（３月　5,000部）。 ◆多摩区子育て支援パスポートカードの改訂を実施し、発行しました（3月5,000部）。 ◆事業の普及啓発として、「たまたま子育てまつり」や「長沢Autumn Festa」に参加し、パスポートカードを「たまたま子育てまつり」で173件、「長沢AutumnFesta」で100件発行しました。また、普及啓発イベントとして、「キッズフリマたまにわ」を開催し、パスポートカードを21件発行しました。 ◆令和４年度に実施したアンケート結果を受けて、対象者の明確化のため、パスポートに有効期限を設ける等のリニューアルを行いました。また、ステッカーを作成したり、応援店と名称を変更するなど、より分かりやすく変更を行いました。	【区役所の評価】 ◆多摩区商店街連合会と当事業の普及啓発に向け、意見交換を行い、各商店街でのイベントに参加したり、地域で活動している団体と連携した新たなイベントを実施しました。 ◆多摩区子育て支援パスポートカードの利用状況等を把握するため、令和4年度に実施したアンケートを分析し、見直しに向けて多摩区商店街連合会と意見交換を行いました。	３ 目標をほぼ達成	
				【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆各商店街のイベントでの普及啓発や、地域で活動されている団体と連携したイベントを実施するなど、当事業の普及啓発に取り組めたという声をいただきました。			
		障害	34 障害者と地域住民の交流の場「障害者社会参加学習活動」	【生涯学習支援課】 ◆多摩市民館障がい者社会参加学習活動「青年教室」として、全10回の活動を実施しました。個人の活動は8回、打合せを８回実施しました。	【区役所の評価】 ◆地域のボランティアの方々や企画し、青年メンバーの社会参加を支援できました。生きがいがづくり、人と人との交流促進と顔の見える活動を通じ学習機会の提供を行いました。	３ 目標をほぼ達成	
				【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆バスハイクなど外での活動や料理教室などを実施することができ、参加者やボランティアからは好評でした。			
		地域・暮らし	35 地域のサロン等への支援	地域のサロン等への支援	【地域ケア推進課・地域支援課】 ◆各地域子育て支援センターに地区の担当保健師が出向き、卒乳講座や育児相談等を実施しました。個別支援が必要と思われる参加者については、個別支援や母子保健事業等につないでいます。	【区役所の評価】 ◆各地域子育て支援センターで出前講座や育児相談を実施し、参加者同志で育児の悩みを共有し、近隣親子との交流により地域への関心を持てるようにサポートを行いました。	３ 目標をほぼ達成
					【連携した団体・区民等の評価／意見】 —		
	36 既設公園リフレッシュ事業	既設公園リフレッシュ事業	【道路公園センター整備担当】 ◆三田第２公園管理通路整備工事（管理通路設置の継続）を実施しました。	【区役所の評価】 ◆工事にあたり、公園管理運営協議会と調整を図りながら事業を実施しました。協議会等の管理の促進に貢献しています。	３ 目標をほぼ達成		
				【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆公園管理運営協議会から、「管理通路の整備により活動がしやすくなった」などの声をいただきました。			

【基本目標 2】－【基本方針 1 身近な地域での交流の促進】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名			取組状況（令和 5 年度）	取組状況に対する評価（令和 5 年度）	事業の達成度
で基本 な目標 が 2 り地 域多 づ世 く代	地基本 域本 の方 針 1 交 流の 身近 な	地域・暮らし	37	多摩区・3 大学連携事業	<p>【企画課】</p> <p>◆「多摩区・3 大学連携協議会」の取組を通して、大学と地域の交流促進を図るとともに、地域の課題解決に向けた取組を行うため、以下の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学・地域連携事業の実施 ・大学生の地域参加促進事業（たまなび）として各種プログラムの実施 ・情報誌たまなびnewsの発行（1回） ・2023多摩区 3 大学コンサート～水と緑と学びのまち～の実施 ・3 大学協議会（3回）、たまなびnews編集会議（1回）の実施 	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆大学の専門的な知見を活かして地域課題を掘り起こす「大学・地域連携事業」では、フィールドワーク活動等における市民との交流を通して、地域課題解決に向けた実践的な取り組みを行うことができました。</p> <p>◆各大学と連絡調整、情報共有を図るなど連携し、大学生の地域参加につながる取組や地域の課題解決に向けた取組を実施することができました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆「大学生の地域参加促進事業」では、取組の中で区民の方と直接ふれあい、地域活動の意義や多摩区の魅力を学ぶことができた、との意見がありました。</p>	3 目標をほぼ達成

【基本目標 2】－【基本方針 2 地域の支え合い活動の推進】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名			取組状況（令和 5 年度）	取組状況に対する評価（令和 5 年度）	事業の達成度
代基本 で本 づ目 な標 が 2 り推 進 る地 域多 域世	の基 支本 え方 合針 2 2 進 い 活 動地 域	地域・暮らし	38	地区カルテを活用した地域づくり	<p>【地域ケア推進課】</p> <p>◆多摩区地区カルテの定期更新を行いました(3月)。</p> <p>◆多摩区地区カルテのホームページ公開しました(3月)。</p> <p>◆共通フェイスシートのホームページ公開しました(4月)。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆各地区の地域づくりワークショップ等において、議論のきっかけとする材料として、地区カルテ共通フェイスシートを活用しました。また、庁内職員を対象とした研修等においても、同資料を活用して各地区の地域特性などについて、情報共有を行いました。引き続き、住民と地域の概況や課題を共有するためのツールとして活用を検討していきます。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆地区カルテを配布している民生委員児童委員から地区カルテの共通フェイスシートについて、イラストやグラフを使い、視覚的に捉えやすく工夫しており、見やすいとの意見をいただきました。</p>	3 目標をほぼ達成

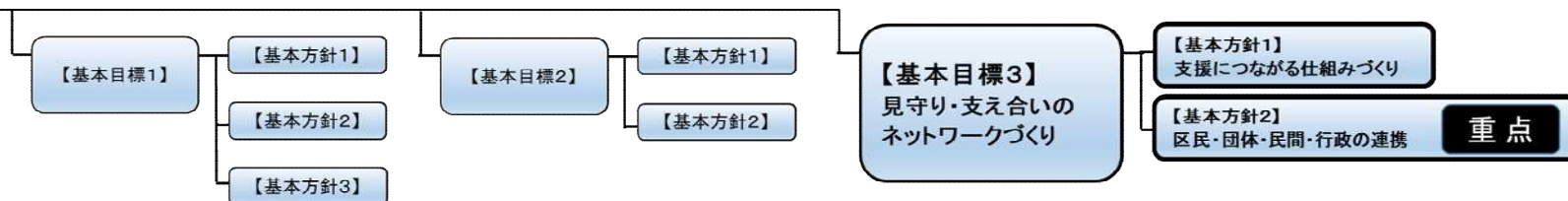
【基本目標2】－【基本方針2 地域の支え合い活動の推進】

基本 目標	基本 方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和5年度）	取組状況に対する評価（令和5年度）	事業の 達成度
基本 目標 2 多 世 代 で つ な が る 地 域 づ く り	基本 方針 2 地 域 の 支 え 合 い 活 動 の 推 進	地 域 ・ 暮 ら し	39 地域包括ケ アシステム の推進	【地域ケア推進課】 ◆区内を5地区に分けて、各地区の地域特性に応じた取組を実施しました。 《登戸地区》 ・のぼりとミーティング コロナ後の活動状況を踏まえ、活動紹介ハンドブック内容を更新しました。 11月12日、登戸・遊園ミライノバハレの日に出席し、パネル展示による地域包括ケアシステムの普及啓発、のぼりとミーティングの周知を行いました。 《菅地区》 ・地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～ 9月4日、報告会を開催し、実施された「地ケ算」の紹介や「地ケ算」を一歩進めるためのグループワークを実施しました。 3月11日、交流会を開催し、 <u>これまでに生まれた10個の「地ケ算」の発表や交流会の今後のあり方について意見交換を実施しました。</u> 《中野島地区》 ・中野島多世代つながり愛プロジェクト協議会 6月12日、協議会を開催し、令和4年度のスローガン・課題について取組の検討を実施しました。 3月11日、協議会を開催し、令和5年度の取組の報告・評価と令和6年度に取り組む課題の意見交換を実施しました。 《稲田地区》 11月12日、緑化センターまつりに出席し、パネル展示や血圧測定を実施して普及啓発しました。 5月22日、11月13日、カフェながおで保健師による講話を実施しました。 《生田地区》 地区内の老人会等を対象に高血圧予防等の講話を実施しました。 3月8日、生田小学校3年生を対象に地ケアに関する授業を実施しました。 ◆5月29日、庁内の連携体制推進に向けて、区役所職員を対象に「地ケアって？」研修会を開催しました。31名が参加しました。 ◆2月10日に「地域の『居場所』探し！『つながり』探し！」をテーマに多摩市民館との共催で地ケアフォーラム×生涯学習交流集会を開催しました。紹介団体参加も含め170名が参加しました。 ◆2月29日、3月7日にデジタル活用に関する理解が十分でない高齢者を対象に「シニア向け！かんたんスマホ教室」を開催しました。スマホ入門編、LINE基礎編を2回ずつ実施し、計4回で43人が参加しました。	【区役所の評価】 ◆各地区の特性に応じて、多様な主体による協働・連携に向けた協議会・交流会を開催してネットワークの維持や目的の明確化に向けた取組を行うことで、地域包括ケアシステム構築のための基盤の安定を一層図ることができました。 ◆ <u>地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～において、「地ケ算」の創出の過程で地域住民や団体の自発的な意見交換や助け合いが見られたことから、「地ケ算」は他地区の支え合いの地域づくりを効果的に進めていく上で有用であると考えています。</u> ◆地ケアフォーラム×生涯学習交流集会の開催により、参加者の地域デビューのきっかけを提供することができました。また、担い手不足の課題を抱える紹介団体が新たな担い手と出会うきっかけを提供することができました。 ◆「シニア向け！かんたんスマホ教室」の開催により、デジタルツール活用による情報格差問題の改善が図ることができました。	2 目標を上回って達成
				【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～の参加者から、「皆さんのアイデアマッチングができて、埋もれていたものが良い形になって生まれ変わって活用されたり、次の交流につながったりと良い場だなと思いました」との意見がありました。 ◆地ケアフォーラム×生涯学習交流集会の参加者から、「いろいろな活動を知る良い機会になった」との意見がありました。また、紹介団体から、「第2部の団体・参加者交流で他の団体と意見交換できて有意義だった」との意見がありました。		

【基本目標 2】－【基本方針 2 地域の支え合い活動の推進】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和5年度）	取組状況に対する評価（令和5年度）	事業の達成度
基本目標2 つながる地域多世代づくり	基本方針2 支え合い活動の推進	地域・暮らし	40	【地域ケア推進課】 ◆上記No.39の各地区における取組参照。	【区役所の評価】 ◆中野島地区の「中野島多世代つながり愛プロジェクト」協議会、菅地区の「地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～」に各地区社会福祉協議会に参画していただき、各地区の現状や課題等について情報共有を行うなど、連携を図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆菅地区社会福祉協議会から「同じ地域内にあっても意外と横のつながりはないが、地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGE～に参加させていただいて、いろいろな団体等と交流し、つながりが出来たことが良かった。参加した方たちも非常に熱心に話をされ、活発な活動ができた」との意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成

【基本理念】 多様な主体と多世代が つながる支え合いのまち 多摩区



【基本目標 3】－【基本方針 1 支援につながる仕組みづくり】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和5年度）	取組状況に対する評価（令和5年度）	事業の達成度
基本目標3 見守り・支え合いのネットワークづくり	基本方針1 支援につながる仕組みづくり	高齢者	41	【高齢・障害課】 ◆介護保険サービス等を利用していない新たに75歳になったひとり暮らし高齢者及び高齢者のみ世帯の高齢者等を対象に、郵送による生活状況調査を行いました。その調査票から見守り対象者を選定しました。また、郵送での調査に回答がなかった方に対して、民生委員児童委員に依頼し訪問による再調査を今年度は5月から行う予定です。 ◆調査後は、個人情報保護に配慮しながら、回答内容を民生委員児童委員と共有して日頃の見守り活動に活用するほか、必要に応じて地域包括支援センターと連携し、孤立等のリスクのある高齢者の早期発見・実態把握や支援につなげるなどの活用を図ることとしました。	【区役所の評価】 ◆回答いただいた調査票は、個人情報保護に配慮しながら民生委員児童委員や地域包括支援センターと連携し、見守りや支援が必要な方への相談につながりました。また、リスクのある高齢者の早期発見・実態把握に活用しています。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆民生委員の方の方に高齢者生活状況調査の結果に応じて見守りを依頼しましたが、その後ひとり暮らし高齢者お一人ひとりの状況に合わせた見守りや支援ができたとの声がありました。	3 目標をほぼ達成
		災害・防犯	42	【危機管理担当】 ◆川崎市災害時要援護者避難支援制度に登録した方、登録抹消した方の情報を、該当する自主防災組織に送付しました。	【区役所の評価】 ◆個人情報に配慮し、適切に送付しました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 —	3 目標をほぼ達成
		地域・暮らし	43	【地域ケア推進課】 ◆通報件数13件（内訳：死亡7件 在宅確認1件 入院確認3件 外出確認1件 就労確認1件 ※令和5年1月1日～12月31日）	【区役所の評価】 ◆住民の異変に係る事業者からの通報に、迅速に対応するなど、異変が生じた際の早期の状況確認について、事業者及び関係課と連携を図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 —	3 目標をほぼ達成

【基本目標3】－【基本方針1 支援につながる仕組みづくり】

基本目標		基本方針		具体的取組・事業名		取組状況（令和5年度）	取組状況に対する評価（令和5年度）	事業の達成度
え 合 い の ネ ッ ト ワ ー ク づ く り	基本目標3 見守り・支援	基本方針1 支援につながる仕組みづくり	地域・暮らし	44	民生委員児童委員の活動支援	【地域ケア推進課】 ◆令和5年度は推薦区会を3回開催し、新規に6名を委嘱し、新任民生委員児童委員研修会を3回開催しました。（3月末時点で欠員19名/定員242名） ◆欠員地区解消のため、町会連合会での説明、依頼文の送付、電話での状況確認に加え、候補者募集ポスターを作成し町内掲示用に配布しました。 ◆活動支援の一環として、市民向けに庁内デジタルサイネージでの広報映像の掲載、市政だよりへの記事掲載(令和5年7月号区版)、地ケア広報誌への記事掲載(vol.5)、地ケアパネル展示に民生委員紹介パネル・パンフレットの設置（2月26日～3月4日）を行いました。 ◆市民からの相談や依頼があった際には、内容に応じて民生委員児童委員と情報共有しました。	【区役所の評価】 ◆欠員区域のある町内会・自治会等に継続的に候補者の推薦依頼を行ったことで、新規に6名を委嘱し、欠員を補充することができました。 ◆新任民生委員児童委員研修会の開催や、市民からの相談・依頼に適切に対応することで、民生委員児童委員の活動が円滑に行えるように支援することができました。 ◆様々な媒体を活用した広報を行い、幅広く民生委員児童委員活動への関心や理解を深めることができました。	3 目標をほぼ達成
						【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆候補者募集ポスターを見た方から、民生委員児童委員の活動内容に興味を持っているとお問い合わせいただきました。		

【基本目標3】－【基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和５年度）	取組状況に対する評価（令和５年度）	事業の達成度
基本目標３ 見守り・支え合いのネットワークづくり	基本方針２ 区民・団体・民間・行政の連携	子ども・子育て	45 多摩区こども総合支援連携事業	【地域ケア推進課】 ◆こども総合支援連携会議を6月7日に開催しました。 各団体から取組状況の報告、こども未来局企画課から「子ども・若者の“声”募集箱」、教育委員会事務局教育政策室から「川崎市ＳＯＳの出し方・受け止め方教育の取組」について、それぞれ説明していただきました。 ◆子ども子育て支援講演会を12月20日に開催しました。 こども・子育て支援地域連携事業と合同で開催し、「デジタルネイティブ世代の保護者との関わり」をテーマにオンライン（Zoom）及び会場のハイブリッド形式で開催しました。区内保育園、小中学校、社会福祉法人、行政職員など25人が参加しました。	【区役所の評価】 ◆こども総合支援連携会議を通じて、今後の取組やアイデア等の情報収集、行政から調査結果や計画の説明をし、子育てに関わる機関・団体と共有しました。 ◆子ども子育て支援講演会のテーマについては、子育て現場で興味関心のある保護者対応に関連するテーマを選定しました。引き続き、会議等を通じて地域団体の連携を深め、地域全体で子育て支援を推進していきます。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆会議の出席者から「各団体の現状や行政が行っている事業の詳細が分かってよかった」などの感想をいただきました。 ◆講演会の参加者から「スマホがあって当たり前の時代なので、禁止にするのではなく、上手に付き合っていくために、親子でよく話し合える関係も大事ななと思いました」などの感想をいただきました。	3 目標をほぼ達成
			46 多摩区要保護児童対策地域協議会実務者会議	【地域支援課】 ◆区代表者部会は全２回の講座を行いました。第１回（9月12日、28名参加）は施設長や管理職向けに講義「支援困難ケースへのアプローチ～支援者としてのアプローチ～」、第２回（11月29日、43名参加）は実務者向けに「対応に苦慮する人たちに向き合う～困難な状況のアセスメントと初期対応～」をテーマに講演会を行いました。 ◆連携調整部会は、児童相談所と区役所が参加し毎月１回実施しました。うち年３回は多摩区内の全要対協ケースについての確認を行いました。	【区役所の評価】 ◆区代表者部会では、参加者からの事前アンケート踏まえて講演会を実施したため、参加者にとって満足度の高い内容となり、機関連携の重要性の理解が深まりました。 ◆連携調整部会では、パソコンを持ち込みペーパーレス化を推進しました。ケース支援に滞りがないよう確認および情報共有をより強化することができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆支援者の心構えや、支援者間での情報共有の重要性を学ぶことができ、今後の支援に活かすことが出来そうだと前向きな評価が多くでました。また、今後参加したいテーマとして、児童福祉法改正、権利教育、演習を盛り込んだ研修、事例検討などの意見がでました。	3 目標をほぼ達成

【基本目標3】－【基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和5年度）	取組状況に対する評価（令和5年度）	事業の達成度
基本目標3 見守り・支え合いのネットワークづくり	基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携	子ども・子育て	47	<p>【保育所等・地域連携担当】</p> <p>◆主催が多摩区公私立保育園、共催が菅こども文化センターで、民生委員児童委員協議会、KFJ多摩すかいきず、地域子育て支援センター宙の協力のもと、保育所等・地域連携担当が事務局となり開催されています。</p> <p>◆5月にコロナウイルス感染症が5類になったことから、3地区で、4・8・9月を除き毎月1回ずつ実施しました。定員を親子15組としていましたが、参加希望が多いことから、10月からは定員を20組にまで増やし、登戸地区318名、生田地区283名、菅地区300名、計901名が参加しました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆キャンセル待ち応募が出る状況に応じ、募集人数の調整をして対応し、地域で求められる集いの場を提供することができた。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆コロナ禍に出生された子を持つ親の参加が多く、このような機会を待っていたという声が多く挙がっていました。保育士の紹介するあそびはもとより、親のリフレッシュや地域に知り合いができることを期待して参加する家庭が多かったです。子どもの成長発達の喜びを共有できる共有してもらえることや、声が掛け合える関係性であることについては、参加者、スタッフ双方から好評な意見が出ていました。</p>	3 目標をほぼ達成
			48	<p>【保育所等・地域連携担当】</p> <p>◆区内公立小学校全校で保育所等の職員による授業参観及び懇談会を実施し、幼保小連携について意見交換を行い、相互理解を深めることができました。（区内小学校15校で実施。幼稚園8園19名、保育施設136園167名参加）</p> <p>◆実務担当者連携連絡会を2回（6・1月）実施し、「幼保小それぞれが、こどもの育ちに対して、教育者・保育者としてどう関わっているか」「支援が必要な児童の対応について」をテーマに事例発表及びグループワークを行い、意見交換を行うことができました。</p> <p>1回目・・・小学校15校、幼稚園6園、保育施設59施設参加 2回目・・・小学校15校、幼稚園7園、保育施設45施設参加</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆小学校との意見交換を通じて、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が共有され、幼児期に育んだ力を小学校でも伸ばしていけるよう、保育・教育内容の相互理解につなげることができました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆小学校授業参観や幼稚園・保育施設の参観体験研修を通して、小学校の先生は具体的な園児の育ちを知ること入学直後の児童の実態に合った指導の工夫や指導計画の作成につながる。また、幼稚園・保育施設の先生は卒園前から入学後を見通して保育することができ、園児も学校生活を安心してスタートすることができたとの声が聞かれました。</p>	3 目標をほぼ達成
			49	<p>【保育所等・地域連携担当】</p> <p>◆区内全ての園に年4回以上訪問しました。エリアの公立園を拠点とし、職員と一緒に訪問を行い、顔の見える関係を築きました。</p> <p>◆オンラインを利用して年齢別懇談会を行い懇談内容やアンケートから課題等を読み取り、園訪問をしながら経過を聞き取っていきました。</p> <p>◆コロナが5類になったことで、対面で公開保育を実施し、テーマに沿った内容だけでなく園の環境や職員の子どもへの関わり方を実際に見ることができました。見学後の意見交換をすることで、相互の学びにつなげることができました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆対面での関わりが増える中、顔の見える関係作りを行うことができたと考えています。</p> <p>◆公立園が中心となって、地域の保育園との連携が図れており保育の質の向上に貢献したと考えています。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆訪問した保育所等の職員から、相談することやアドバイスを受ける身近な存在であるとの意見をいただきました。</p> <p>◆講座を実施した保育所等の職員から、栄養士や看護師の常勤がいない園や経験の浅い園では、出張講座によって専門的知識のスキルアップにつながったとの意見をいただきました。</p>	3 目標をほぼ達成
		障害	50	<p>【高齢・障害課】</p> <p>◆企画運営会議、相談支援調整会議は、予定どおり行うことができました。地域包括支援センターと障害者相談支援センターとの連絡会（年1回）、相談支援事業所連絡会（年3回）、児童発達支援・放課後デイサービス事業所連絡会（年1回）を実施し、他分野、関係機関との顔の見える関係づくりに、また、定例会を年2回開催し、多くの区内の障害関係者が出席され、地域自立支援協議会の取組に対して意見をいただくことができました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆企画運営会議、相談支援調整会議、地域包括支援センターと障害者相談支援センターとの連絡会（年1回）、相談支援事業所連絡会（年3回）、児童発達支援・放課後デイサービス事業所連絡会（年1回）及び定例会（年2回）を実施したことで、行政・関係機関が連携して地域課題の検討、解決に向けての取組ができました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>—</p>	3 目標をほぼ達成

【基本目標 3】－【基本方針 2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名			取組状況（令和 5 年度）	取組状況に対する評価（令和 5 年度）	事業の達成度
基本目標 3 見守り・支え合いのネットワークづくり	基本方針 2 区民・団体・民間・行政の連携	障害	51	多摩区精神保健福祉連絡会議	【高齢・障害課】 ◆多摩区精神保健福祉連絡会議全体会を年4回、講演会（年1回）は「親子のメンタルヘルスーみんなで子育てー」をテーマとし、会場・オンラインを併用して事前申込により開催いたしました。60名ほどの事前申込をいただき、当日は会場・オンライン合わせて、41名の方が参加されました。	【区役所の評価】 ◆会場・オンラインを併用して開催したことで、会場での参加が難しい方でメンタルヘルスに関して興味関心のある方にも参加していただくことができ、普及啓発を図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆まさに子育てをされている参加者から今後の子育ての参考になる話であったこと、今回のようなオンラインでも参加できるような講演会を増やしてほしいなどの意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
					【高齢・障害課】 ◆地域包括支援センターでは、高齢者が地域で安心してその人らしい生活を継続するため、区、介護支援専門員、サービス事業者及び医療機関等の参加による個別ケア会議を計24回、地域ケア圏域会議を計17回開催し、高齢者本人や御家族が抱える課題に応じ、様々な社会的資源を適切に活用できるよう取り組みました。	【区役所の評価】 ◆新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことから、各会議対面での開催を再開しました。引き続き、包括的・継続的ケアマネジメント支援に取り組みました。また、区では、各種会議への参加を通じて個別ケースの課題分析や地域課題を把握、地域包括支援ネットワークの構築に取り組みしました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆高齢者本人のみならず、同居する子が障害を抱えている（もしくは疑いがある）等、世帯への支援が必要であり、障害者支援等複数の支援機関が関わることが必要な、問題が複雑化したケースが増えているとの話が挙げられています。	3 目標をほぼ達成
		高齢者	53	多摩区相談支援・ケアマネジメント推進委員会	【高齢・障害課】 ◆区では、4月、9月及び2月にそれぞれオンライン形式で介護支援専門員連絡会と地域包括支援センターの参加による推進委員会を計3回開催しました。 ◆2月の第3回推進委員会では、ソーシャルワークスキルの向上をテーマとし、研修形式で開催しました。	【区役所の評価】 ◆区では、オンライン会議の積極的な導入により、年間計画どおりに推進委員会を開催しました。また、健康福祉局主催の連絡会議や地域包括支援センター主催の調整会議の中で、行政・関係機関が連携して地域課題の検討、解決に向けて取り組むことができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆ケアマネ不足が喫緊の課題ではありますが、研修を活かしソーシャルワークスキルを向上させケアマネの業務負担の軽減につなげていきたいとの声をいただきました。他、手続きの簡略化、オンライン化等、自治体にて対応できる業務軽減を検討してほしいとの意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
					【高齢・障害課】 ◆年間スケジュールを立て、毎月第2火曜日の10時～12時、年全12回のセンター連絡会議を開催し、多摩区内の地域包括支援センター長の他、地域支援課、地域ケア推進課の係長にも参加してもらい、さまざまな議事・課題について検討し、情報共有しながら支援体制の構築をしました。	【区役所の評価】 ◆区役所の高齢者支援係と連携し支援する頻度が最も多い、区内7か所の地域包括支援センター長との連絡会議を毎月開催することで、区内の地域特性に見合った課題解決に向けた支援体制を構築することができました。引き続き次年度も継続開催していくことが決定しています。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ー	3 目標をほぼ達成
					【高齢・障害課】 ◆チーム会議を偶数月の第4木曜日10時～12時で実施。年6回の開催日を設け、新規相談ケースがある場合やその後の経過相談の有無によって開催。 今年度は2回の開催となりました。	【区役所の評価】 ◆支援ケースになるかの是非も含めて医療機関へ検討することができ、今回の新規ケースについても、各支援機関との密な情報共有や検討により連携強化を図られました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆チーム員の中で、支援を行うにあたり、アウトリーチをどうしていくかが課題との共通認識がありました。対象者として認知症の自覚を持ち始めた方は自ら病院などに行く、逆に無自覚の方は他者自体を拒否しているなどが挙げられました。	3 目標をほぼ達成

【基本目標3】－【基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名			取組状況（令和5年度）	取組状況に対する評価（令和5年度）	事業の達成度
基本目標3 見守り・支え合いのネットワークづくり	基本方針2 区民・団体・民間・行政の連携	高齢者	56	多摩区在宅療養推進協議会（チーム・たまの活動）	<p>【高齢・障害課】</p> <p>◆7月1日に多摩市民館大ホールにおいて、自宅での『看取り』を考えるシンポジウムを開催しました。第1部は「老親を看取るということ～私たちの場合～」をテーマに紺野美沙子氏と山口容子氏がトークライブを行いました。第2部は「家での看取りを支える職種の紹介」をテーマに区内医療機関、訪問看護事業所、ケアマネジャー、地域包括支援センターなどをパネリストとしてパネルディスカッションを行いました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆コロナ禍の中、令和3年から検討していた「市民啓発」において、市民の関心が高い「自宅での介護・看取り」をテーマとしたシンポジウムを開催しました。「住み慣れた我が家でその人らしい最期を迎えるために」というテーマをとおして在宅医療の普及啓発、「かかりつけ医」の推進、医療介護の連携等を市民の方に知っていただくよい機会を設けることができました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>—</p>	3 目標をほぼ達成
					<p>【地域ケア推進課】</p> <p>◆多摩区支え合いのまちづくり推進会議を年4回開催しました（6月28日、8月7日、9月27日、2月26日）。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆第7期多摩区地域福祉計画の策定にあたり各委員から意見を伺うことができました。</p> <p>◆多摩区の地域包括ケアシステムを推進にあたり、地域福祉に関連する取組や地域のニーズ・課題等について各委員から意見を伺うことができました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>—</p>	
		地域・暮らし	57	多摩区健康づくり推進連絡会議	<p>【地域支援課】</p> <p>◆多摩区健康づくり推進連絡会議を年2回開催しました（6月29日、2月29日）。医師会・薬剤師会・商店街連合会・区内小中学校長、大学教授等が参加し、令和4年度から引き続き「高血圧予防」をテーマに今年度の効果的な取組内容や地域での展開方法等の検討・意見交換を行いました。高血圧予防をテーマにした5地区での介護予防教室の実施、血圧手帳の改訂、高血圧予防ニュースの作成と配布、イベントでのポスター展示やチラシの配架等、普及啓発を地域と協働し行いました。</p>	<p>【区役所の評価】</p> <p>◆多摩区の健康づくりや介護予防事業にて統一して高血圧予防をテーマに取り組みしました。様々な切り口で、幅広く普及啓発を行うことにより、住民へ予防行動の動機づけを行いました。</p> <p>◆配布・活動実績として、R4年度からの2年間でシティマップナビタ：5,666部、血圧手帳：4,469部、ポスター：208部を配布し、高血圧予防をテーマにした5地区での介護予防教室合計10日間実施。延べ参加者数152名の参加がありました。</p> <p>【連携した団体・区民等の評価／意見】</p> <p>◆委員の医師からは、教室の参加者は熱心に受けており、区役所でも血圧測定している人を見かけたり、血圧手帳も予想以上に普及しており徐々に高血圧に対する意識が生まれてきているのではないかと感じていること、中学校では塩分摂取についての食育の授業やPTA向けの試食会も実施し保護者からの評価も高く今後若い世代やファミリー層へのアプローチも検討して必要があること、大学教授からは、健康づくりはどれだけ地域に根ざしていけるかが大切であること等の意見や感想をいただきました。</p>	3 目標をほぼ達成

【基本目標 3】－【基本方針 2 区民・団体・民間・行政の連携】

基本目標	基本方針	具体的取組・事業名		取組状況（令和５年度）	取組状況に対する評価（令和５年度）	事業の達成度
基本目標３ 見守り・支え合いのネットワークづくり	基本方針２ 区民・団体・民間・行政の連携	地域・暮らし	59 多摩区食育推進分科会	【地域支援課】 ◆多摩区健康づくり推進連絡会議と連動して、テーマを「食からの高血圧予防」とし、減塩と野菜摂取量増加に取り組みました。会議は７月18日、２月29日の年２回、対面形式で開催しました。 （取組１）食塩量啓発パネル、野菜クイズ、紙芝居等の新たな食育媒体の作成 （取組２）情報発信 １.啓発物「足りて野菜」ポスター194枚、栄養成分表示チラシ3,026枚の配布（R4,R5の配布実績）２.区役所ホームページ「おいしい野菜レシピ」での啓発及び多摩区版市政だより９月号での広報 （取組３）イベントでの啓発 生活習慣病予防講座、多摩区栄養士等研修会、健康フェスタ・食育月間におけるパネル展示、図書館と連携した啓発(食育月間に図書館と連携し図書館特集・展示コーナーでのパネル展示、テーマに沿った書籍の配架、図書館入口でチラシ配布やクイズを実施し94名が参加。） （取組４）出前講座等での啓発（計10回、149名） （取組５）ベジチェックを伴う野菜摂取量増加啓発イベント １.8月31日の野菜の日において、分科会委員の小売店にて実施し、32名参加。２.食生活改善普及運動・健康増進普及月間（９月）に企業と連携して実施。37名が参加。 ◆食育推進分科会委員団体同士が自ら連携し、若者世代向けの講座及び調理実習を実施。	【区役所の評価】 ◆新たに作成した食育媒体の活用や、様々な主体（図書館、企業、小売店等）と連携したイベント開催によって、無関心層を含む多世代へアプローチすることができました。 ◆食育推進分科会の委員団体同士の連携で、行政でも課題である若者世代への啓発ができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆委員からは、子ども向けには減塩は難しく、野菜摂取量増加に取り組むことが有用であること、また、幼稚園職員からは食べるより育てることに興味がある子どもが多く、栽培活動での食育が大切との意見がありました。また、ベジチェックにおける推定野菜摂取量測定については、摂取量が見える化してゲーム感覚で楽しめる点が良いとの意見がありました。 ◆一人暮らしの学生は時間がなく朝食欠食であったり、金銭面での欠食やお腹にたまる食べ物を選択する傾向があるが食事への興味関心はあるため、若者世代の居場所で、委員団体と区役所が講座を行った取組は良いと感じたという意見がありました。若者世代は講座や調理実習に興味があるため、アプローチ方法を検討する必要があるということでした。 ◆啓発方法については、新たな場所で啓発するより、集客がある場で行うことが必要であること、子どもの保護者向けでは、学校等に来校する際にチャンスである等の意見が出されました。	3 目標をほぼ達成
			60 区社会福祉協議会との連携	【地域ケア推進課】 ◆区における5地区の地域づくりの取組（No.3 9 参照）での連携や、地域ケア推進課・地域支援課主催の5地区合同定例会において情報共有を実施しました。	【区役所の評価】 ◆地域福祉活動を進めるにあたり、区役所及び区社会福祉協議会の事業・取組について情報共有を行うなど必要な連携を図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 ◆区社会福祉協議会から、地ケアフォーラムにおいて「参加団体の方とボランティア相談で繋がりができ、参加して良かった」との意見をいただきました。	3 目標をほぼ達成
			61 関係営業施設との連携	【衛生課】 ◆食品衛生協会と協力し、食品等事業者を対象とした食品衛生講習を実施しました。 ◆食品衛生協会と協力し、食中毒予防に関するチラシを飲食店の店頭等で配布しました。	【区役所の評価】 ◆相談の傾向や影響の程度を考えながら、講習の主題を選びました。 ◆細菌等が繁殖しやすい夏やノロウイルスの流行する冬に食中毒の予防に取り組みました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 —	3 目標をほぼ達成
		その他	62 庁内の各種連携会議	【地域ケア推進課】 ◆区地域包括ケアシステム推進本部会議を年2回開催しました（8月30日、2月6日）。 ◆区コミュニティ施策推進本部会議と連携を行い、地域包括ケアシステム推進に向けた取組などの情報提供を行いました（年3回）。	【区役所の評価】 ◆区地域包括ケアシステム推進本部において、区における地域包括ケアシステムの推進に向けた取組や区地域福祉計画について情報共有を図ることができました。 ◆区コミュニティ施策推進検討部会において、地区カルテ等について周知を図ることができました。 【連携した団体・区民等の評価／意見】 —	3 目標をほぼ達成